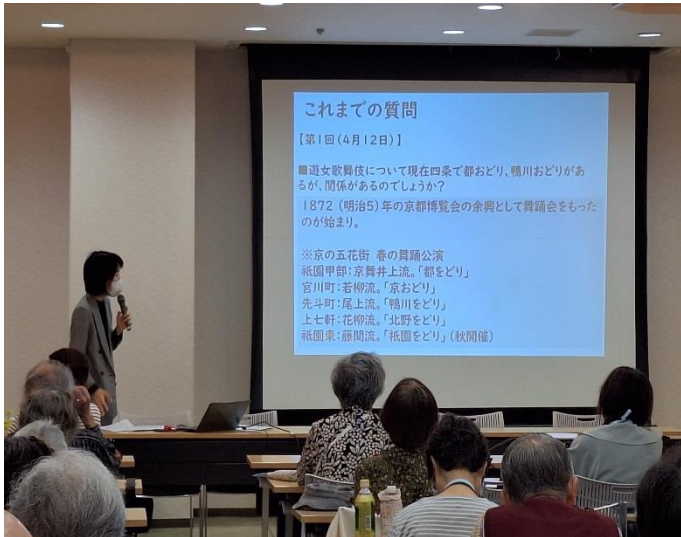


伝統芸能から人間ドラマを楽しむ 特別短期講座

テーマ：第6回 人形浄瑠璃『曾根崎心中』～葛藤の果てに

日時：2023年10月11日 9:45～11:45

講師：北見 真智子 先生 (大阪音楽大学講師・音楽学)



これまでの質問

○ 遊女歌舞伎について一都おどり・鴨川踊り関係あるか？

1872年の京都博覧会の余興として舞踊会をもったのが始まり

○ メタバースの世界で伝統芸能を楽しむ方法

狂言・幸若舞・岩見神楽など

○ 240番ある能の作者は？

現行演目の約240曲のうち、作者の確定できる演目は全体の2～3割程度。観阿弥・世阿弥・観世元雅・金春禅竹・宮増・観世信光・金春禅鳳・観世長俊

○ 現代の松竹がやっている興行は江戸期においては？

芸能興行の仕組み 《名代》＝幕府公認の興行権のこと

興行権の保有者＝名代主(借りる)・劇場の保有者＝芝居主(契約)→1年ごとに芸団を編成

芸団の経営者＝座元

人形浄瑠璃

16世紀:三河地方で盲人音楽家の語り物として

琵琶・扇拍子を伴奏として語られていた。

矢作の長者の娘・浄瑠璃御前と牛若丸との恋物語を語る

「浄瑠璃姫物語」が好評になる。

浄瑠璃に合わせて人形を操るのが「人形浄瑠璃」

太夫・三味線・人形遣いの「三業一躰」一息を合わせて

表現する総合芸術

* 太夫

初世 竹本義太夫(1684年、竹本座)

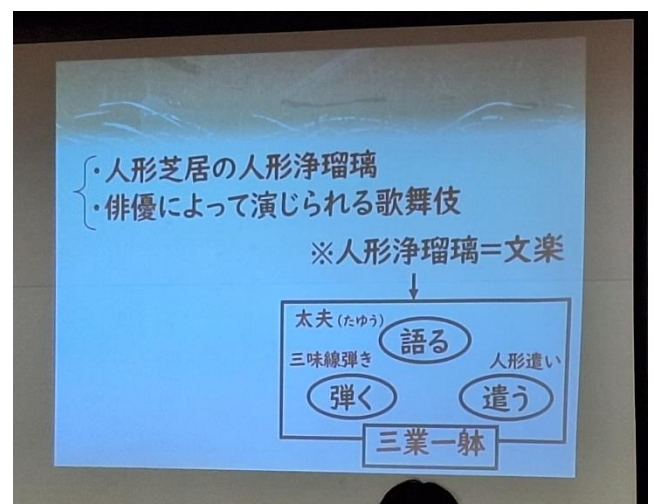
床本を見て浄瑠璃を語る、「語る」—老若男女・善人・悪人などあらゆる人物になりきる。すべての台詞・

仕草・情景描写・物語の背景などを一人で語り分ける

* 三味線

人形浄瑠璃で使うのは幅のある力強い音色を特徴とする「太棹」の義太夫三味線

厚く重い撥(バチ)—こすったり・はじいたり・たたきつけたり・重厚な音・細い音・暑さ寒さを感じさせるなど多彩な表現がなされる



午後のクラス活動

『能勢浄瑠璃鑑賞会』

幸会（みゆき会）さま

伝統芸能から人間ドラマを楽しむ科床本
 日時・・・令和五年十月十一日
 主催・・・幸会（みゆき会）
 会場・・・茨木福祉会館

□上 竹本二三（今中 猛）
 三味線 豊澤源幸・大渡美智子・若田 希
 人形 井角美知子・中川敏美・元古幸恵
 丸山和代・城阪完子・森下美智子
 宮内恭子・畑 静

三味線組曲 大渡美智子 若田 希 丸山和代
 傾城恋飛脚 新口村の段・・・毒語）
 竹本東寿太夫（谷 善樹）

傾城阿波の鳴門 十郎兵衛住家の段・・・人形有り）
 竹本東久（久保文直）
 竹本井祥（田中祥介）
 竹本三宝（原田三三）
 竹本五方齋（金田 納）

傾城恋飛脚 新口村の段・・・
 孫右衛門は老尼の、休みく門を過ぎ、野口の溝の薄氷、滑るをど
 まる高足駄。鼻緒は切れて横さまた、どろどろ転べは『蘭無三』と
 忠兵衛もかじど出われぬ身、梅川慌て走り出で、抱き起しつ腕絞り、
 「申しく、どろどろ痛みは致しませぬかへ。お年寄の危ないこと
 オノマ危ないこと。お足も洗ひ、鼻緒もすけて上げませぬ。ママ」
 〳〵〵〵





能勢浄瑠璃 幸会のみな様

浄瑠璃開催にあたりまして色々ご足
労おかけいたしました。感謝申し上げ
ます。

本当に素敵な浄瑠璃ありがとうございました。
とても感動いたしました。

(担当 千種)

